

令和2年度使用小学校教科用図書について

1 採択結果

国語	光村図書
書写	教育出版
社会	教育出版
地理	帝国書院
算数	東京書籍
理科	東京書籍
生活	東京書籍
音楽	教育出版
図画工作	日本文教出版
家庭	開隆堂
保健	学研教育みらい
外国語	東京書籍
特別の教科 道徳	学研教育みらい

2 採択理由

種目	教科書名	発行者	概要
国語	こくご 国語	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しと振り返りを重視している。読むことの手引きのページには手順と課題が分かりやすく提示されている。 ・前学年との学びのつながりがわかるページを設定している。 ・低学年では、生活科など他教科との関連や季節を考え構成されている。他学年でも他教科との関連が多くある。資料ページに例示や説明があり、観察カードを書くときなどに、自主的に活動できる。 ・説明的文章の単元は、練習テキストと本番テキストという2教材構成になっていて、無理なく学習に入り込める構成になっている。 ・古典作品だけでなく、単元の合間などでも言語文化に触れられている。
書写	しょしゃ 書写	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・書写における「書く力」を「適切に運筆する力」として、運筆のリズムや指でのなぞり書きなどで指導の工夫がされている。 ・「こしぴん」「あしぺた」など入門期の児童でもわかりやすい合言葉で「よい姿勢」「鉛筆の持ち方」を示して取り組みやすい。 ・先ず最初に書く字が示してあり、次のページにポイントや注意点など学ぶ内容が示されており、工夫されている。手本を机の左側におく場合も見やすいのではないかと。 ・低学年の文字指導において、指で文字をなぞる学習が毛筆につながる太字で表されているところが次の指導につながる。

社 会	小学社会	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の学習において、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の学習の流れが統一されている。毎時間の学習においても、問いから学んだことを次時につなげるスタイルが見られ、公民としての資質・能力の基礎を育成しようとする意図が感じられる。 ・ノーベル平和賞を取り上げ、平和への思いを高めようとしている。 ・本県の杉浦醫院（４年）、忍野村清掃活動（４年）、甲州市のぶどうづくり（５年）、春米学校（６年）を取り上げている。 ・６年歴史における想像図は、大きく臨場感があり、当時の様子を捉えやすい。
地 図	楽しく学ぶ小学生の地図帳	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて社会科を学び、地図にふれる３年生に対して、地図の活用に慣れ親しむことをねらう内容が豊富である。 ・日本の領土や国の範囲、周辺諸国がわかりやすく取り上げられており国土について基礎的な知識を身に付けることができる。 ・「地図マスターへの道」のコーナーで、楽しく主体的な学びが期待できる。 ・鮮明な色づかいにより高低がわかりやすく、立体的で見やすい地図である。
算 数	あたらしいさんすう 新しい算数	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動から、数学的見方・考え方を養う問題として「今日の深い学び」を、２学年では１箇所、３年以上は３箇所設定している。「今日の深い学び」では、「問題をつかもう」「自分の考えをかき表そう」「友だちと学ぼう」「学習を深めよう」「ふり返ってまとめよう」「使ってみよう」の項目が教科書横に記され、具体的な方法が示されている。問題解決の過程を可視化することで、児童が見通しをもって活動に臨めるよう配慮がされている。 ・単元プロローグでは、対話を通して日常事象や生活経験を話題として学習意欲をたかめたり、既習内容を整理し振り返ったりしながら、単元の課題を創出するページとなっており活用できるように配慮されている。 ・目次には２学年から単元ごとに「前の学習」、「後の学習」を示し、学習内容や数学的な見方・考え方の関連や系統を意識させる配慮がなされている。６学年では、中学校数学との内容的な連結に重点を置き、算数の学習内容が中学校の数学に結び付いていることが分かるように、目次で「後の学習」や本文中の「中学の芽（中学の芽マーク）」を脚注に設け、具体的なつながりを例示するなど工夫されている。 ・乗除法では、２学年のかけ算から量を表した線分図と数直線を発達段階に即して表記方法をかえ、系統的に取り扱っている。演算決定の場面で、「数直線の図を使って考えてみよう」を設け、数直線図のかき方、読み取り方を示し、数直線の図を通し

			て2つの量の数量の関係を理解できるよう工夫されている。
理 科	新しい理科	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 单元ごとに1. 問題をつかむ（課題設定） → 2. 調べる（予想・計画・観察・実験） → 3. まとめ（考える・深める・振り返る・注目する）の統一された流れが設定されており、児童が次の活動について見通しをもちやすくなっている。 ・ 第4学年～第6学年の巻末の「資料」という特設ページには「理科室の使い方」が掲載されており、理科室の基本的なルールやマナーが身につくように配慮されている。 ・ 単元の学習の中に、トピック的に「理科のひろば」が設定されており、学習内容と生活を結びつけて考えられるよう工夫されている。授業以外でも進んで学習したことを使って考えたり、調べたりしようという動機付けになっている。また、中学校で学ぶことも発展的内容として書かれており、学習のつながりを意識できるようになっている。 ・ 全体的に写真が大きく、鮮明で見やすい。「植物を育てよう」では、植物を4種類用意し、相違点を見つけられるようになっている。
生 活	あたらしいせいかつ新しい生活	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末の「かつどうべんりてちょう」には、合科的な視点から、安全教育・道徳教育・情報教育・図工教育・国語教育など生活の基礎となる資質・能力の育成に役立つ内容が掲載されている。 ・ 幼児期の学びを生かして活動がスタートしており、「スタートカリキュラム」を大切にしている。身近で取り組みやすい題材が重点的に取り上げられ、低学年の児童の発達に配慮されている。植物や野菜の成長がページをめくると発見でき、児童のわくわく感を高める工夫がされている。 ・ 身近な生活からだんだんと社会に広がる構成になっており、下巻は3年生の理科や社会を意識した構成になっている。単元末の「〇〇ずかん」や巻末の「ポケットずかん」や「べんりてちょう」もたくさんおの情報提供になっており、「もっとやってみよう」「もっと調べてみたい」という自主的な学習や活動に役立つよう配慮されている。 ・ 大判紙面（40ミリ拡大）で、低学年の児童に向いている。活動場面が表情豊かな写真が多く、色彩も美しく児童の学習意欲につながる。また、イラストや板書例の中にICT活用や活動の流れが見える化した授業のユニバーサルデザインを例示しており、細かな配慮がされている。
音 楽	小学音楽おんがくのおくりもの	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を形づくっている要素を教材ごとに示し音楽的な見方・考え方を働かせた学習を系統的に進めることができる。知覚、感受したことを表現するための「音楽を表すいろいろな言葉」が載っており、個々のイメージや感情と関連づけた表現の手がか

	音楽のおくりもの		<p>りを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて体を動かすなどして気がついたことや感じ取ったことを書き留める欄があり、友達と共有しながら学ぶことができる。 ・題材ごとに学習活動、目標及び目標を達成するための教材を配列し、その中に手順等が段階的で明確に示されており、目標の達成を確認するための項目が示されている。 ・3年生以上は教科書のサイズが大きくなり、情報量が増えても見やすい。
図工	ずがこうさく 図画工作	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・教材毎に「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力人間性等」に関わる「がくしゅうのめあて」が、いずれの題材もページの同じ位置に強い色調で示されており、児童が意識しやすい。 ・「材料や用具の使い方」のページが充実しており、材料や用具の使い方を指導する際に役立つ。いずれの題材にも注意喚起の表示があり安全への配慮がなされている。 ・いずれの題材にも片付けをするときの留意点が記されており、教師が児童に片付けの指示を出すときに役に立つ。「造形遊び」「絵に表す」「立体に表す」「工作に表す」「鑑賞」のそれぞれについて題材数のバランスがよい。 ・特別支援教育に関する配慮がなされていて、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。資質・能力の三つの柱に基づいた学習のめあてが、黒板に各題材に分かりやすい言葉で示されていて、評価の参考にもなる。
家庭	小学校わたしたちの家庭科	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の営みに係る見方・考え方を、「生活の見方・考え方 4つの視点」として図化し、具体的な学習のヒントを提示することで、視点を身近に感じられる構成になっている。また案内役の「四つ葉マーク」及び「トランプマーク」を使用し見方・考え方を学びの中で働かせられるようになっている。 ・調理実習例・製作例には、☆マークの数によって難易度がわかるようになっており、選択する時の参考にしやすい。 ・全ての大題材の最初に「学習のめあて」が、終わりに「ふり返ろう」「生活に生かそう」が設けられ、見通しをもって学習を進めることができる。また、「できたかな」で、自己評価ができるようになっている。 ・実習・製作の手順が横流れになっており、しかも背景の色も工夫されているので、見やすくなっている。詳細な写真で説明されているので、手順が分かりやすい。
保健	みんなのほけん	学研教育みらい	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や日常生活の中で起こりうる身近な課題を取り上げることで、子どもたちが親近感を持って学ぶことができる内容となっている。イラストの配色が淡いので、落ち着いて教科書を

	みんなの保健		<p>見ることができる。「ここで学ぶこと」で毎時間の課題が明示されており、児童が学習の見通しを持つことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くわしく説明・関連する情報」が教科書の下欄に書かれていて、もっと知りたい部分がある章の後ろ(2時間毎)の部分にまとめて掲載されている。 ・他教科・学年間の関連ある学習内容についてわかりやすく示してあり、学習の系統がよくわかるようになっている。 ・実際の場面をイメージしやすい写真やイラストが使われている。実験の様子や結果が載っており、知識を科学的に理解し、習得できるように工夫してある。画像の大きさや色合いもユニバーサルデザインの考え方に基づき編集され、レイアウトされている。学習内容を的確に表現したイラストや図表が掲載されている。写真や図表は、資料生が高く、鮮明であり、児童の興味関心をひくものとして効果的に配置されている。
外国語	NEW HORIZON Elementary	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・単元目標に対応した22の「めざす姿」を設定し、目的や場面状況等に応じて児童が既習事項を選択し、表現できるようになっている。単元目標が児童の興味関心を引く設定で、身近なことから未来、また世界へと学年発達段階に合致しており多岐にわたっている。 ・3. 4年から5. 6年、そして中学校へとスムーズに進めることができるよう、スパイラルに登場する語や表現を集めた Picture Dictionaryが付属の資料として付いている。5学年では「日本」を6学年では「世界」をテーマに学習内容が設定されているため、身近なことから徐々に視野を広げられるように配列されている。 ・4技能の分量がバランスよく構成・配列されている。各単元に「Starting Out」「Your Turn」「Enjoy Communication」という3つの活動が設定され、音声に慣れ親しみながら、言語活動を行う構成になっている。どの技能を重点的に扱う時間なのかが意識できるように、各活動に技能アイコンが示されているため児童が活動内容を理解し、目的意識を持って学べるようになっている。 ・主語、動詞に色がついており、語順の気付きを促しやすい。語彙・表現集が別冊になっており、小学校で学びたい語(600～700語程度)や表現が収録されており、2年間同一の冊子を「自分自身の学びの履歴」として使い続けることができるようになっている。各Sounds and Lettersでは、児童がそのまま書き写して学べる書体を使用し、4線ノートの幅や線種、基線の色使いが工夫されている。
特別の教科 道徳	新・みんなのどうとく	学研教育みらい	<ul style="list-style-type: none"> ・教材冒頭に主題名が示されておらず、児童に学習前に特定の価値観を押し付けることなく、児童自らが主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培うことを重視し、教材を通して多面的

	<p>新・みんなの道徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多角的に考えることように工夫されている。 ・山梨県出身でノーベル生理学医学賞を受賞した大村智先生や、卓球の平野美宇選手など、各分野で活躍している郷土に関わる人物、また、世界文化遺産として登録された富士山や西湖のクニマスを教材として取り上げており、児童が教材を身近なものとして捉えることができるとともに、郷土への愛着と誇りを育むことができると考える。 ・小学校学習指導要領に示された特別の教科道徳の各学年の内容項目は、相当する学年において、すべて適切に取り上げられている。教材が「私のこと」「あなたと私のこと」「社会と私」「いのちや自然と私」の4つの視点で色分けされており、児童が、どんな内容を学んでいるのかを理解しやすい構成となっている。 ・1ページがA4版の視覚的にゆったりとした紙面で余裕があり、文字、写真・イラスト及び余白のバランスが良い。写真・挿絵は、1年生の赤ちゃんの実物大の写真など、色遣いが鮮やかで迫力があり、児童が興味を抱きやすいものとなっている。写真とイラストを併用して、リアリティと想像力の両面で学びを深める事ができるように工夫されている。
<p>特別支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文科省検定済み教科書（検定本） ・文科省著作教科書（☆印本） ・一般図書（附則9条図書） 	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等に従い、学校教育の目標を達成するために、各学校が教育内容を組織したものが教育課程であるが、特別支援学級では学習指導要領の規定をもとに、一人一人の児童の実態に応じるよう工夫することが編成の前提となる。 ・特別支援学級の教科用図書を採択するにあたっては、上記によって編成された教育課程を実施するにあたり、教科用図書としての内容・体裁等の条件を満たしていることが必要となる。また、単に児童の障害の状態や特性に応じて、実際的で具体的な学習が進められるだけでなく、児童の興味・関心、学習意欲を引き出すものであること、児童の生活や経験に基づいており、実際の生活に生かせる配慮がなされていること、交流及び共同学習についても考慮することなど、総合的に判断することが望まれる。 ・本調査委員会においては、これらのことを踏まえて、文部科学省著作教科書及び県教育委員会が作成した「令和2年度使用特別支援学校及び特別支援学級における教科用著書調査研究資料」に掲載されている一般図書を中心に、知的障害特別支援学級児童の教科用図書として適していると思われる図書を選択して調査を行った。

3 調査研究資料
別紙の通り